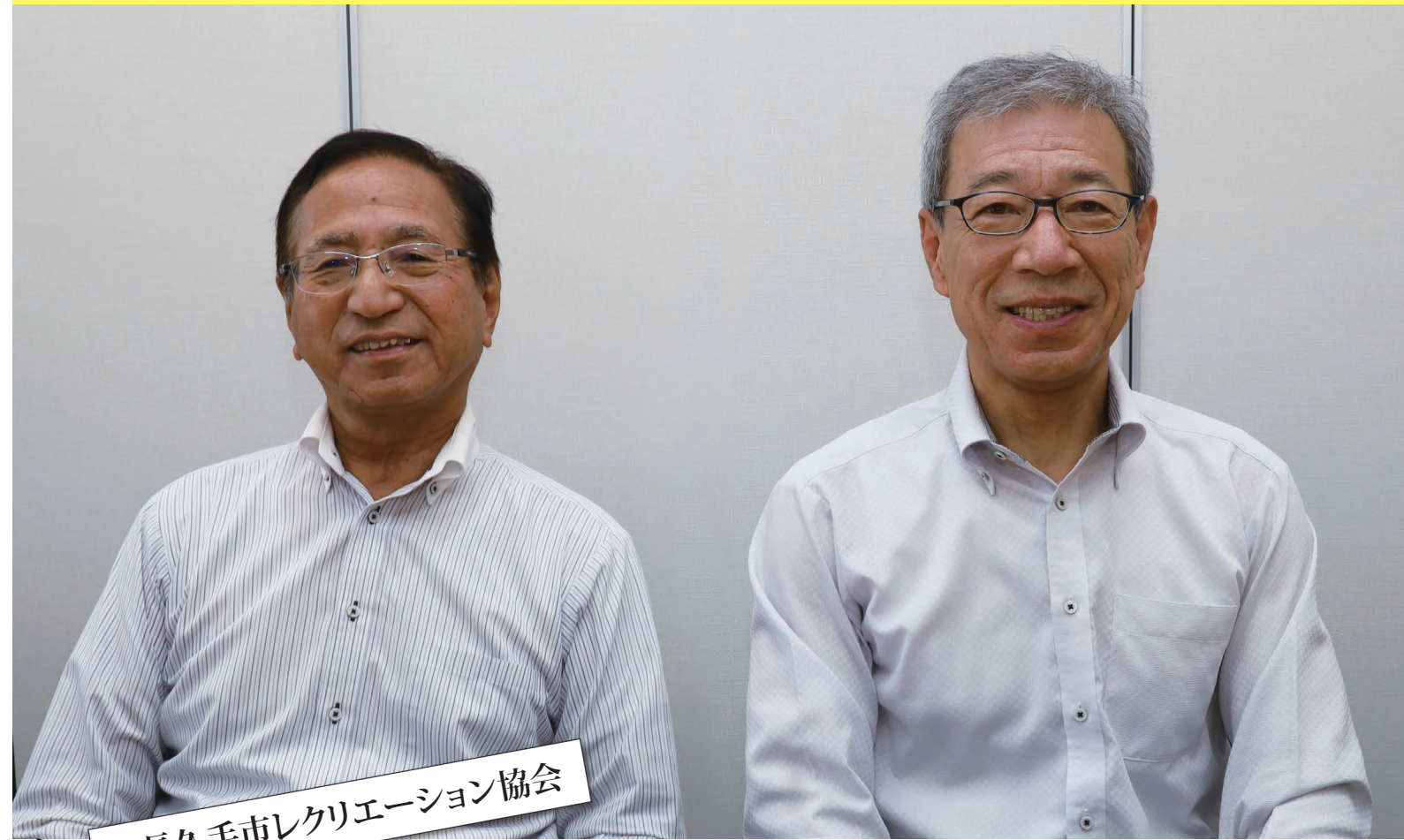


わたしのまちづくり



「市民主体のまちづくり」と言われてみなさんは何か具体的なイメージがありますか？
ここでは、主体的に活動している市民を情報課職員が取材して紹介します。



長久手市レクリエーション協会

会長 加藤 勝 さん

理事長 和田 隆志 さん

今回は、子どもから大人まで楽しめるさまざまなレクリエーション活動の企画運営や普及活動をととして、市民の健康維持や世代を超えた交流促進などに取り組む、長久手市レクリエーション協会会長の加藤勝さんと理事長の和田隆志さんにお話を伺いました。

情報課職員(以下「情」)…はじめに、長久手市レクリエーション協会について教えてください。

加藤勝さん(以下「加藤」)…長久手市レクリエーション協会(以下「レク協」)は、愛知県レクリエーション協会や日本レクリエーション協会の協力を得て、何か新しいことをやろうと集まった人たちによって創立され、今年でちょうど20周年を迎えました。当初は長久手の歴史を感じながら市内をウォーキングしたり、市民まつりであったり、地域の中で福祉の相談役を作ろうということで、福祉の専門講座を半年ほど開いたり、色々と模索しながら活動の幅を広げていきました。現在、協会には6つの加盟団体があり、あらゆる世代を対象とした事業を展開しています。また、年に1度レクリエーションフェスティバルも開催しています。

情…レク協との出会いや現在どのような活動をされているか教えてください。

和田隆志さん(以下「和田」)…私は50歳になる手前に、たまたま新聞でレク協の存在を知りました。当時は会社勤めの傍らに、長久手市内の体育館で空手道をやっていたんですが、地域とのつながりを広げられる良い機会だと考え、思い切って講座に申し込みました。

その講座でレクリエーションインストラクターの資格を取った後に協会に入らないかとの誘いを受け、今に至っています。現在はレク協の理事長を務めながら、個人としては「太極柔力球を楽しむ会『翔』」という加盟団体に所属し、月1回の練習や普及活動に励んでいます。太極柔力球とは、太極拳の優雅で流れるような円の動きを球技に取り入れたニュースポーツの一つです。

加藤…私はレク協の母体である長久手レクリエーション指導者クラブに発足当初から在籍しています。指導者クラブは、レクリエーションの最大の目的である、「人の心を元気にすること」を達成するための指導や支援方法を学んだメンバーで構成されています。活動としては、おおむね60歳以上を対象とした「男性の料理教室」などの企画運営をしています。料理教室では高齢者の調理支援、交流、そして地域への奉仕という二つの目的を持ち、始まりからもう7年が経過しますが、参加希望者が定員オーバーになるほど人気の事業なんです。お一人での申し込みが多いですが、定年後初めて地域で友人ができた人も多いようです。

情…レク協では他にもラダーゲッタークラブや、児童向けのチャレンジ教室など、幅広い分野の事業を展開しているらしいですね。活動をしているなかでのやりがいを教えてください。

加藤…やはり参加者から楽しかった、参考に

なったといった前向きな声をいただけると、一番私はやってよかったなと思います。新しい体験によって単調な生活にメリハリが生まれ、生活を豊かにするというレクリエーションの目的を達成するために、これからも活動を続けていきたいです。

和田…私たちはレク活動をととして、身体以上に心が生き生きとなるようなサポートをしたいです。活動後に、何事も前向きにチャレンジしてみようと思えるよう支援するのが私たちの役割だと思っています。そのためには、参加者とともに私たちも楽しむということを大事にしています。なかでも太極柔力球などのニュースポーツは、子どももお年寄りも、車椅子の人でも、とにかく誰でも楽しめるのが魅力ですので、ぜひ多くの人に体験していただきたいですね。

情…市民のみなさんへメッセージをお願いします。

和田…もともとレクリエーションというのは、体力を使うとか競うとかそういうことではなくて、心身のリフレッシュという明確な目的があるんです。私は会社の仕事だろうが家事だろうが、生活すべてがレク活動の一つになりうると考えています。例えばスポーツレク活動やクッキングレク活動のように、「〇〇レク活動」として「〇〇」に当てはめれば、どんなことでも楽しめるんだという気づきを伝えていきたいですね。

レクリエーション協会会員募集中！

問 レクリエーション協会(杵ヶ池体育館) ☎63-1000

一緒にレク活動を楽しむ会員を募集しています。詳細は杵ヶ池体育館へ。

内 加盟団体6団体(笛の会、レインボー、長久手レクリエーション指導者クラブ、ラ・ポールウォーキングクラブ、長久手市ラダーゲッタークラブ、太極柔力球を楽しむ会「翔」)

「Weeklyながくて」でも長久手市レクリエーション協会の活動の様子を取材しています。Weeklyながくてはこちら▶

